

Jクレジット認証委員会御中

実績確認概要書

平成 27 年 11 月 17 日

審査機関名 株式会社日本スマートエネルギー認証機構

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	廃棄物処理施設におけるインバーター制御の導入及びポンプの更新による CO2 削減
承認番号	JCDM-PJ1320
排出削減事業者名	番の州エコサービス株式会社
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人低炭素投資促進機構 (その他関連事業者：有限会社 いわきエスコ)
事業実施場所	番の州エコサービス株式会社 (香川県坂出市番の州町 7 番地 1)
事業の概要	廃棄物処理施設において、焼却炉へ空気を供給する押込送風機のインバーター制御化、燃焼ガス噴射水ポンプの高効率設備への更新という複数の削減対策によりエネルギー消費量を低減し、CO ₂ 排出量の削減を図る。
排出削減量の計画	2013 年度 19tCO ₂ /年 (事業実施期間合計 19tCO ₂)
国内クレジット・Jクレジット認証期間	開始日 2012 年 11 月 30 日 終了予定日 2021 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 005 間欠運転制御、インバーター制御又は台数制御によるポンプ・ファン類可変能力制御機器の導入 方法論番号 025 ポンプ・ファン類の更新

2. 本実績確認の対象期間

2013 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日 (第 2 回目実績報告)

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	157 tCO ₂ (2013年4月1日～2015年3月31日)
-------	---

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じていることを確認した。 1) 承認排出削減事業計画に従い、既存の押込送風機にインバーター制御機器を導入していること及び高効率のポンプを導入したことを事前審査の現地訪問の際に確認した。 2) 本実績報告期間において導入設備が稼働していることを、本実績報告期間におけるエネルギー使用実績等により確認している。 3) 事業開始日が承認排出削減事業計画通りであることは工事検収書により確認した。 4) その他、本事業に承認排出削減事業計画から重要な変更がないことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていることを確認した。 1) モニタリング方法については、承認済事業計画に従って、担当者が電力監視装置で電力消費量を計測し電気使用量の把握がなされていることを確認した。 2) 活動量の正確性については、報告期間中に亘り、記録責任者の管理の下、電力量計による計測値、運転時間が記録されており、本データが正確に集計・算定されていることを、集計データの突合等により確認した。 3) 単位発熱量、排出係数等の係数の確認 排出削減量の算定式及び使用されている排出係数等が方法論及び承認排出削減事業計画に従っており、算定結果が正

	<p>確であることを確認した。</p> <p>4) 事業実施後排出量、ベースライン排出量、リーケージ排出量、排出削減量の算定結果をモニタリング結果と突合、方法論の定めた計算式との照合、計算過程を確認した結果、排出削減量の算定結果が正確であることを確認した。</p> <p>5) その他</p> <p>その他、排出削減量の算定において重大な変更はなされていないことを確認した。</p>
<p>算定期間が 2021 年 3 月 31 日を超えないこと</p>	<p>本実績確認の対象期間は、2013 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日までであり、排出削減量を算定した期間が 2021 年 3 月 31 日を超えないことを確認した。</p>

5. 特記事項

確認した排出削減量（クレジット量）に相当する省エネ量について、原油換算 71.5kl であることを確認した。

以上